

令和7年度

自己点検・自己評価

富山リハビリテーション医療福祉大学校

令和7年度 自己点検・自己評価

目次	1
(1) 教育理念・目標	2
(2) 学校運営	3
(3) 教育活動	4
(4) 教育成果	5
(5) 学生支援	6
(6) 教育環境	7
(7) 学生の受け入れ募集	8
(8) 財務	9
(9) 法令等の順守	10
(10) 社会貢献・地域貢献	11

自己点検・自己評価

評価項目の達成及び取組状況



が、令和7年度評価

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや適切…2、不適切…1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	3	2	1
・学校における職業教育は実践されているか	4	3	2	1
・社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1

①課題・改善点

【R7】

例年と同様、育成人材像はオープンキャンパスで説明、学生募集要項にも記載をしている。入学前説明会や入学後のオリエンテーション、入学後も早期から理学療法士・作業療法士のイメージができるような授業工夫を行っている。介護福祉科の1期生が3月に卒業し、介護福祉分野に必要な人材を育成し、地域社会へ輩出することができた。

少子化や大学進学率の上昇等の影響により入学定員の充足が困難な状況となっている。本校の教育の特色や強みを一層明確にし、教育の質及び学校の魅力向上に向けた取組が課題である。

②今後の方策

【R7】

従来の教育理念を継承しつつ、本校の特色である「医食同源」の理念を生かした教育を推進する。また、医療・福祉を取り巻く社会の変化や地域ニーズを踏まえ、教育内容を継続的に見直し、実践力と人間力を兼ね備えた人材の育成を目指す。そのため、教職員研修を計画的に実施し、教育の質の向上を図る。

(2) 学校運営

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや適切… 2、不適切… 1			
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
・ 意思決定システムは確立されているか	4	3	2	1
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

①課題・改善点

【R7】

グループウェアを利用した情報共有や業務の円滑化は少しずつではあるが更新されており、教職員の目標とも明確になっている。教職員個々の取組は充実しているものの、組織としての情報共有や業務遂行体制については改善の余地がある。組織力の低下の原因の一つに教職員の退職等により、組織運営の継続性に課題が生じている。

②今後の方策

【R7】

業務分掌に基づく役割分担を明確にするとともに、情報共有の迅速化と業務の標準化を推進する。また、教職員の人材育成や引継体制を整備し、組織運営の継続性と組織力の向上を図る。

(3) 教育活動

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや適切… 2、不適切… 1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
・修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
・資格取得に対する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

① 課題・改善点

【R7】

各学科におけるカリキュラムの編成について、カリキュラムツリーにより体系的に作成されているが、一部について改善の必要性が指摘されている。
各学年でどのような講義を導入すべきか更に検討する必要がある。

② 今後の方策

【R7】

近い将来、カリキュラムの見直しができるよう体系的な観点から定期的に検討を行う。
教育課程編成委員会及び教育課程編成責任者を中心として、医療現場のニーズや国家試験の出題傾向を踏まえたカリキュラムの検証・改善を継続的に行う。
また、教員の臨床能力及び教育力向上を目的とした研修制度を充実させる。

(4) 教育成果

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや適切… 2、不適切… 1			
・就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1

① 課題・改善点

【R7】

当校の就職率は、理学療法科96%、作業療法科94%、介護福祉科100%であった。

国家試験合格率は、理学療法科100%、作業療法科77.8%、介護福祉科41.2%であった。

なお、全国合格率は、理学療法士89.7%、作業療法士91.2%、介護福祉士70.1%であった。

退学者数は、理学療法科187名中5名（2.6%）、作業療法科63名中3名（4.7%）、介護福祉科38名中1名（2.6%）であった。

退学理由としては、「医療職への理解不足や入学後のミスマッチによる進路変更」が最も多く見られた。また、近年は心身の不調により休学した後、復学に至らず退学するケースが増加している。さらに、友人関係や臨床実習先におけるコミュニケーションへの不安や悩みを抱え、学業継続が困難となる学生も増加傾向にある。

②今後の方策

【R7】

国家試験については、最終学年の学生全員が国家試験を受験できるよう、受験支援及び学習指導の充実を図る。国家試験合格率100%及び就職率100%を継続的な目標とし、学生一人ひとりの学習状況を早期から把握するとともに、個別学習支援を充実させる。また、退学防止のため、保護者、スクールカウンセラー及び関係教職員が連携し、早期支援体制を強化する。

(5) 学生支援

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや適切… 2、不適切… 1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の 取組が行われているか	4	3	2	1

①課題・改善点

【R7】

本校独自の奨学金制度を設け、経済的理由による修学継続の支援に取り組んでいる一方、物価高騰など社会情勢の変化を踏まえ、支援制度の周知や内容の充実について継続的に検討していく必要がある。学生生活支援については、アルバイトと学業の両立に配慮し、学校行事や就職活動における面接指導の日程を早期に周知しているが、学生一人ひとりの生活状況に応じたきめ細かな支援体制の充実がより一層求められる。

高校との連携については、体験授業や出前講座などを通じて交流を進めているが、高校生の進路選択につながる教育連携や情報発信をさらに強化し、本校の教育内容や魅力をより効果的に伝えていくことが課題である。

② 今後の方策

【R7】

進路・就職支援については、臨床実習と連動した支援体制を構築し、県内外の医療機関・施設との連携強化を推進する。また、学生が安心して相談できる環境を整備するとともに、学生との信頼関係を基盤とし、社会人基礎力の向上を図る。あわせて、地域スポーツチームや高等学校へのコンディショニング指導等を教育活動に位置付け、学生が実践的に学べる機会を拡充する。

(6) 教育環境

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや適切… 2、不適切… 1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

①課題・改善点

【R7】

校内のコンピューターネットワークについては、通信環境の安定化が課題となっており、教育活動に支障を来さないよう改善を進める必要がある。

防災対策については、富山校は年2回の避難訓練等を実施し、防災意識の向上及び災害時対応の確認に努めているが一番町キャンパスについては、消防機関から避難訓練の実施について改善指導を受けたため、訓練の実施及び防災体制の充実を図る必要がある。

②今後の方策

【R7】

ICT環境及び校内ネットワークの整備を計画的に進めるとともに、AI等のデジタル技術を活用した教育環境の充実を図る。

一番町キャンパスについては、防災体制の整備を進め、令和8年度中に年に最低1回は避難訓練を実施する。

語学学習環境については、フィリピンの姉妹校との連携を活用し、英語研修や国際交流の機会を充実させ、学生の国際的な視野の醸成を図る。

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや適切… 2、不適切… 1			
・ 学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
・ 学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

①課題・改善点

【R7】

学生募集活動については、法令やガイドラインを遵守し、適正な手続きと情報提供に基づいて実施している。学校説明会、体験授業、広報媒体の整備など、必要な募集活動は計画的に行っている。一方で、地域の人口減少や進路多様化の影響もあり、定員確保が難しい状況が続いており、入学定員の充足が課題となっている。

②今後の方策

【R7】

教育成果については、国家試験合格率や就職実績、地域貢献活動等を積極的かつ分かりやすく公表し、本校の教育の質と成果を広く発信する。

また、本校の教育理念や特色ある教育内容、実践的な学び、国際交流、産学・地域連携など、本校ならではの魅力を効果的に情報発信するとともに、高等学校との連携強化、オープンキャンパスの充実、SNS・動画配信・ホームページ等を活用したデジタル広報を強化し、学生募集活動の充実・強化及び入学定員の確保を図る。

(8) 財務

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや適切… 2、不適切… 1			
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

① 課題・改善点

【R7】

理事会の運営及び会計監査は適切に実施しているものの、学校法人の健全な運営を維持するため、ガバナンス機能の充実と積極的な情報公開を継続して推進する必要がある。

② 今後の方策

【R7】

少子化の進行や大学進学率の上昇により、専門学校を取り巻く経営環境は今後さらに厳しさを増すことが予想される。

このため、教育の質の向上と特色ある教育の推進により学校の魅力を高めるとともに、国家試験合格率や就職実績、地域貢献活動などの教育成果を積極的に発信し、安定した学生確保に努める。あわせて、収支の適正な管理と経費の効率化を進め、中長期的に持続可能な財務基盤の確立を図る。

また教育の質向上と経営基盤の安定化を両立させ、持続可能な学校運営を推進する。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや適切… 2、不適切… 1			
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
・ 自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

①課題・改善点

【R7】

個人情報の適正な管理については、同意書の取得や撮影・掲載時の確認など適切な運用を行っているが、個人情報保護に対する社会的要請は年々高まっていることから、教職員の意識向上及び運用ルールの継続的な見直しが課題である。

また、自己評価結果についてはホームページで公表しているものの、学校運営の透明性を一層高めるため、情報公開の内容や発信方法の充実が求められる。

②今後の方策

【R7】

個人情報の適正な管理と保護を徹底するため、個人情報の使用及び写真・動画の撮影・掲載に関する同意手続を継続するとともに、教職員への周知・研修を充実させ、適切な運用を図る。

また、自己評価結果については、引き続き本校ホームページで適切に公表し、学校運営の透明性の確保と情報公開の充実に努める。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや適切… 2、不適切… 1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

①課題・改善点

【R7】

地域連携・社会貢献活動については、富山グラウジーズとの連携による「こども食堂」への協力や、富山県作業療法士協会との「作業療法を知ろう」体験会、地域の病院祭への協力など、活動の充実を図っている。一方で、地域連携活動のさらなる充実を図るため、連携先の拡大や学生の参加機会の確保、活動成果の効果的な情報発信が課題となっている。

②今後の方策

【R7】

体験授業や部活動指導などを通じた地域貢献・社会貢献活動を継続するとともに、県、市、病院、福祉施設、プロスポーツ団体、高等学校等との連携を一層推進する。

また、これらの活動を学生の実践的な学びや教育の質の向上につなげるとともに、本校の特色ある教育活動として積極的に情報発信し、地域から信頼される学校づくりを推進するとともに、本校の教育成果を地域へ還元し、その取組を積極的に情報発信することで、教育の質向上と学生募集の強化につなげる。